

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社デリックくちま）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			R7の就業規則において、セクハラ・パワハラ・マタハラ・あらゆるハラスメントについて禁止する条文を新たに加えた。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			毎月長時間労働の集計公表を行い、改善方法を検証し人材不足においては、外国人労働者の採用等積極的にを行い改善を図っている。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・外国人技能実習制度に基づいた環境整備は勿論、当社独自に専用講師による日本語研修を週3回行い、日本人同等の処遇をしている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・県外各所に従業員を派遣していることから、産業医と看護師を面談とオンライン双方で可能な体制に変更。衛生管理についても専門部署を設置し大幅に改善されている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・長時間労働者へ面接指導勧奨通知書を交付し心身共に良好な状態を維持できるよう働きかけている。又、毎月来社する産業医に積極的に健康に関する相談を行うよう働きかけている。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			全従業員の約7割が女性、又1割が外国人が占め、障害者法定雇用率は3%台と大幅に超えており、高齢者雇用も多く、各世代が活躍出来る環境となっている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			採用時のマンツーマン研修や日誌による指導の他、担当職務や職位に合わせた研修を行っている。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・短時間労働者及び有期雇用労働者の雇用改善に関する法律や労働者派遣法を順守し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行う					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			経済産業省《健康経営優良法人》の認定取得を行っている			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・契約産廃業者と連携し廃棄物の種類・量など現状を把握し、台帳を整備する ・フードロスの削減に取り組んでいる。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・自社の電気・ガスの使用量を時系列に把握している。 ・削減のため省エネ診断実施。							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			CO2とエネルギー消費削減の為、本社工場屋根に太陽光発電設置を実施、更にR8年LED工事化を予定する。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			化学物質管理者を任命し、有害化学物質の保管や使用の対し適切な指導をし、使用時における注意事項を指導している。			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			・環境に配慮した排水施設を有し、生物多様性保全に配慮している						6.6									15			
16		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			・工場での炊飯米・パン・野菜くず等出荷前の食材を分別し鶏の餌として、リサイクルに努める											13		14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・自社の井水使用状況を毎日測定し、毎日の使用量め計測している。R8年よりさらに細かく水の使用量がどこでどの位使用されるか判るよう流水計を設置予定。						6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）							3.9			6	7				12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）			・HPにて環境に対する取組を公表している。												12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・本社第2工場屋根と本社第一工場お屋根に太陽光パネルの設置をした。又R8年には本社工場の一部照明をLED化工事を予定している。							7.2						13					
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・県内産業の地元業者の食材を優先的に使用し、地域の活性化に寄与するとともに、定期的に業者が納入する食材の評価も行っています。												12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			・就業規則及びコンプライアンス規定に行動規範を明記し、社内浸透を図っている																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			・就業規則及びコンプライアンス規定に行動規範を明記し、社内浸透を図っている																	16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			知的財産の適切な管理・保護を通じてSDGs目標9に貢献しています。特許・商標など権利を適正に扱います。								8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			・「特定個人情報の適正な取り扱いに関する基本方針」を定めて体制を整備している																	16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ （任意）			・鉱物自体の取り扱いなし																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・長野県産を表示している原材料に於いて、米はトレイサビリティ法に則り100%確認、他の食材は必要に応じ証明書を徴求し管理している					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）			「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している			3					8	9	10								17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			当社は製品およびサービスの安全性を最優先に考え、法令順守・製品管理・情報公開を徹底しています。定期的な点検改善を行い安全性を高めています。			3.9									12.4							
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			当社は安定した品質の製品・サービスを提供するため、品質保証体制の強化と継続的改善に取り組んでいます。								9											
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・「重油焚ボイラの高効率ガス焚ボイラ転換による省エネルギー事業」として国内クレジット認証委員会から認証される。						6						12	13	14	15				
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・「災害時における食糧等の供給及び運搬に関する協定」を長野県及び長野市と締結	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・地元養護学校から職業体験を通し多数採用 ・地域中学校の体験学習の受入				4				9		11	12		14	15			17		
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・災害時の食事提供: 東日本大震災、長野県北部地震、長野県大雪(軽井沢)、長野県神城断層地震、新潟中越地震				4						11			14	15			17		
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)			・地域産業資源を活かすため、JA全農長野、地元製粉会社、フードチェーン店が連携し長野県産小麦100%使った「信州のパン」シリーズを販売、地元産食材100%の駅弁開発。 ・経営理念を明文化している ・令和6年度短期経営計画書を作成し、本社社員を集めて説明。又4月各部門長より1年間の取組方針を担当毎に説明した。								8	9		11	12	13						
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 (必須)			・経営理念を明文化している ・令和6年度短期経営計画書を作成し、本社社員を集めて説明。又4月各部門長より1年間の取組方針を担当毎に説明した。								8	9								17		
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			コンプライアンス規定を制定し、毎月の会議の中で様々な事案を公表し、法令順守体制を強化した。																	16		
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			SDGs推進について経営層を中心に前社会的な取組を進めています。各部門長が責任をもって定期的な進捗状況確認と報告を行い推進を行います																	16		
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者: 消費者、投資家等及び社会全体)	基本 (必須)			・高騰する食料資材の為、受託給食先への交渉事案が増加。他に定期的なアンケートや給食会給食会議を開催しお客様との対話を行っている。																	16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			・災害・インフラダウン・機械類故障対応フローチャート作成 ・非常時対策チーム組成 ・定期的にリスク想定し訓練実施																		16	
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・CSR方針を環境への取組、地域への取組、社会への取組としてHPに公開。CO2の削減、災害時協定、災害時・緊急時にもバックアップできる体制を維持している																		16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・BCP策定済み、災害時・インフラダウン・機械類故障対応フローチャート作成。									9		11		13 13.1				16		
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・社内取締役、社外取締役等役員の人材は豊富だが、1期ずつ計画的に対応検討している。								8	9									17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定